



けやきっ子

六栄小学校だより
第37号
令和7年3月14日
文責：久保田 真二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

令和6年度を振り返って～やはり連携が大切です～

令和6年度も残りわずかとなりました。令和6年度は【瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～】を学校教育目標にして教育活動に取り組んできましたが、学校評価アンケート(児童)を参考に、今年度の反省をお伝えしたいと思います。

まず、「瞳輝くけやきっ子」について、228名の子どもたちがどれだけ瞳を輝かせることができたのでしょうか。授業中に真剣に学習に取り組む姿、休み時間に友達と仲よく遊び、いろんな行事で楽しく活動する姿等、子どもたちが瞳を輝かせる場面をたくさん見ることができました。また、学校評価アンケートの質問1の結果からも「3.4」と高い評価が得られたことは嬉しく思います。令和7年度も、子どもたちの瞳が更に輝くような教育活動を展開していきます。

次に、児童の心の面についてです。質問2では、自他を大切にできるかについて聞いていますが、「3.3」と高い評価が得られています。本校の児童は、優しい子が多いと感じています。質問3は、自己肯定感について聞いていますが、「2.9」と最も低い評価になっています。自己肯定感が低いと、周囲を気にしすぎて自分の意見が言えなかったり、失敗を恐れて消極的になったりします。子どもたちの可能性を伸ばすためにも、自己肯定感を高める取り組みをしていかなければならないと考えます。これは、学校だけでなく、学校と保護者と地域とが連携した取り組みが必要です。

質問4と質問5は、基本的な生活習慣についてです。子どもが元気に登校し、瞳を輝かせるためには、基本的な生活習慣の定着が必要です。質問4と質問5は、ともに「3.0」という評価になっていますが、朝食を食べずに登校したり、授業中に欠伸をしたり、何かしら元気のない子どもを数名みかけます。また、家庭学習の習慣が定着していない子どももいます。

学校教育目標の実現のためには、保護者と地域と学校が連携しながら取り組むことが大切だと考えています。学校だけでできることはありません。六栄小学校の子どもたちは、可能性をたくさんもっています。その可能性を輝かせるためにも、令和7年度も本校の学校教育に対するご理解とご協力をよろしくお願いします。

【学校評価アンケート(児童)より一部抜粋】

	質問項目	評価
1	あなたは、学校に行くのは楽しいと思いますか。	3.4
2	あなたは、自分を大切にしたり、相手を思いやったりできますか。	3.3
3	あなたは、自分の良いところを言えますか。	2.9
4	あなたは、早寝早起きをして規則正しい生活を心がけていますか。	3.0
5	あなたは、お家で進んで学習していますか。	3.0

放課後の過ごし方とSNSの使い方について確認を！

年度末を迎え普段より早く下校することがありますが、子どもたちの放課後の過ごし方について気になることがあります。例えば、ヘルメットをかぶらずに自転車に乗っていたり、公共の場所(レインボーコートや公園、公民館など)で遊んでお菓子を食べたゴミを散らかしたまま帰ったり、スマホなどを触りながら行動したり等です。このようなことは学校でもしっかりと指導していきます。ただ、SNSの使い方だけは各家庭においてもしっかりと目を光らせておいてもらいたいと思います。先日も、児童のSNSの使い方トラブルになりかけたことがあります。SNSの加害者にも、被害者にもならないために次の2点につきまして確認をお願いします。

- ①子どもさんが使えるスマートフォンや携帯電話にはフィルタリングの設定をする。
- ②子どもさんが使用しているアプリ等の確認をする。

先日、朝の情報番組で、子どもの「ゲーム課金」高額化について報道されていました。保護者が知らないうちに子どもがゲームの課金をしていて、それがかなりの金額になったそうです。これは、フィルタリングをしたり、子どもがスマホでどんなゲームをしているかを保護者が把握したりしていれば起きなかったことです。春休みを迎えるにあたって、子どもだけで過ごしたり、子どもたちだけで遊んだりする時間が増えてきます。トラブルに巻き込まれないために、再度、上記の2点について確認をお願いします。

毎月17日は
ながす交通安全の日



登校班が新しくなりました。登校の様子を見ていただくと助かります。